

ケアラー支援条例をつくる

- 子育て世帯・ひとり暮らしの高齢者がつながれる場を増やす
- 在宅介護や在宅医療、子育て家庭への支援を拡充する
- ケアする人も大切にされる社会をめざす

子どもの遊び、参加、学びを保障し、

子どもの権利を守るまち

- 不登校の子ども・親への支援を強化し、親の相談会やピアサポートの機会をひろげる
- 子ども専門の相談・救済窓口の設置ほか、子ども・若者条例の具現化をすすめる
- 子どもたちがみんなが行きたい学校をつくる

待ったなしの気候危機・環境対策

- 住宅や施設の省エネ化と創エネで再生可能エネルギー利用を促進する
- 街路樹も公園もヒートアイランド対策の視点で見直す
- 雨水を蓄え、ゆつくりと川へ供給する機能を維持、向上させる
- 香害など化学物質対策を子ども基準で行う

都市農地と食の安全を守る

- まちづくりにも都市農地の多面的な機能をいかす
- 学校給食の食材に多摩市産地場野菜を増やす
- 働く人のステップや就労の場として農福連携をすすめる

多様性を認めあうジェンダー平等社会

- 女性センターの機能を強化する
- 性別役割分担の意識改革をすすめる

バリアフリーのまちづくり

- 障がい者・高齢者・子どもの視点で「誰もが歩きやすい街」をつくる
- 地域交通・移動サービスを移動の権利として保障する



ひとりにはしない 子育て・介護



決意 さとうみずほの

私はこれまで、学習塾や地域での子育てに関わる活動を通して、多くの親子や市民のみなさんの声に触れてきました。また、3人の子どもを育てるひとり親として、日々の生活の中で感じる不安や違和感、「こうだったらいいのに」という小さな願いを積み重ねてきました。

声をあげにくい立場の人や、日々の忙しさの中で置き去りにされがちな思いこそ、丁寧にすくい上げられる市政であってほしい。

私は、そうした小さな声にも耳を傾けながら、多くの方と対話を重ね、暮らしに根ざした市政のあり方を一緒に考えていきたいと思っています。

さとうみずほ プロフィール

■1989年 神奈川県相模原市生まれ ■1996年 青空幼児村卒 ■2005年 相模原市立内出中学校卒業 ■2008年 帝京大学高等学校卒業 ■2012年 東京科学大学(旧東京工業大学)理学部 地球惑星科学科卒業 ■2014年 同大学院修士(地球惑星科学) ■2014年 花まる学習会グループ(株) こうゆう入社~幼児から中学生の指導に従事 ■2023年 多摩市子育て情報オープンチャット開設 ■2024年 生活クラブ生協に加入 ■2025年 子育てでコミュニティ「ままここ」立ち上げ / 生活クラブコネクト機構東京政策検討 PJ事務局 / 多摩・生活者ネットワーク政策委員 ●好きなこと: 子どもと自然の中で過ごすこと、星空観察 ●趣味: 絵を描くこと、教育関連の読書、音楽、手芸 ●貝取在住 ●3人の子ども(3・6・9歳)を育てるひとり親

応援 します!

さとうみずほさんにあなたの一票を!



申 キョン お茶の水女子大学教授

- 浅倉 むつ子 早稲田大学名誉教授
- 澤登 早苗 恵泉女学園大学名誉教授
- 坪郷 實 早稲田大学名誉教授
- 天笠 啓祐 ジャーナリスト
- いぢち 恭子 社民党東京都連合副代表・多摩市議会議員
- 石本 寛子 親子カフェおむすび主催
- 神永 瑞穂 生活クラブまち多摩広報
- 岩永 やす代 東京・生活者ネットワーク都議会議員
- 原田 恭子 元都議会議員
- 岩崎 みなこ 市議会議員
- 岸田 めぐみ 市議会議員

生活者ネットワークの3つのルール

- 1 議員は交代制
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティア